

介護ニーズ最前線

団塊の世代を知る

阪本 節郎

人生100年時代 未来ビジョン研究所 所長

最終回

次世代介護施設が花開く



さかもと・せつお ● 1975年早稲田大学商学部卒。株博報堂入社。プロモーション企画実務、研究開発に従事の後、企業のソーシャルマーケティング開発を推進。2000年にエルタービネス推進室、11年に新しい大人文化研究所を設立。さらに、19年に独立し当研究所を創設。現在、所長。著書、『50歳を超えたらもう年をとらない46の法則』（講談社＋α新書）『シニアマーケティングはなぜうまくいかないのか？新しい大人消費が日本を動かす』（日経新聞出版社、韓国版、台湾版）他

今後利用者として「団塊の世代」が激増していくなか、新たな高齢者像を知り、介護ニーズを理解するため、団塊の世代の実情や志向、団塊の世代がもたらす介護現場への影響について解説します。

団塊世代は
時代と世代の変わり目

本稿も最終回です。これまでの全体像がつかめるように整理したいと思います。

団塊世代は時代の変わり目をつくりました。「数の力」で初めての本格的な若者文化を生み、それは「人種」が変わるほどのインパクトがありました。団塊以前は「見合い結婚」で団塊以降は「恋愛結婚」です。「友達夫婦・友達家族」が始まり、それ以降はそのバリエーションといえます（図表）。高齢者になっても同様で、これ

までの利用者は「おじいちゃん、おばあちゃん」でしたが、団塊からは多少具合の悪い「おじさん、おばさん」です。この従来とのギャップに対応できれば、あとの世代はそのバリエーション、つまりこれからの介護施設利用者のモデルとして考えることができるようになります。

団塊世代の三大問題

団塊の世代が利用者になることで、想定される問題は大きく三つです。それは「クレーム」および「パワハラ」、そして「セクハラ」です。

「クレーム」は、団塊世代のなかに問題の指摘が得意な人たちがいることで起こります。「パワハラ」は、団塊の世代が現役時には上から目線にもなりがちで、会社や仕事社会でよくみられました。同様に、「セクハラ」で社内恋愛や不倫を生み出したのも団塊男性です。

では、どう対応すべきか。基本的には施設ルールの「説明」、特に「事前の説明」が重要です。さらに一部のうるさ型には管理職や施設長の直接対応が予想以上に効果的です。「施設長に言われちゃしょうがない」というところです。もう一つの対応法は「持ち上げてあげる」です。「みんなが○○

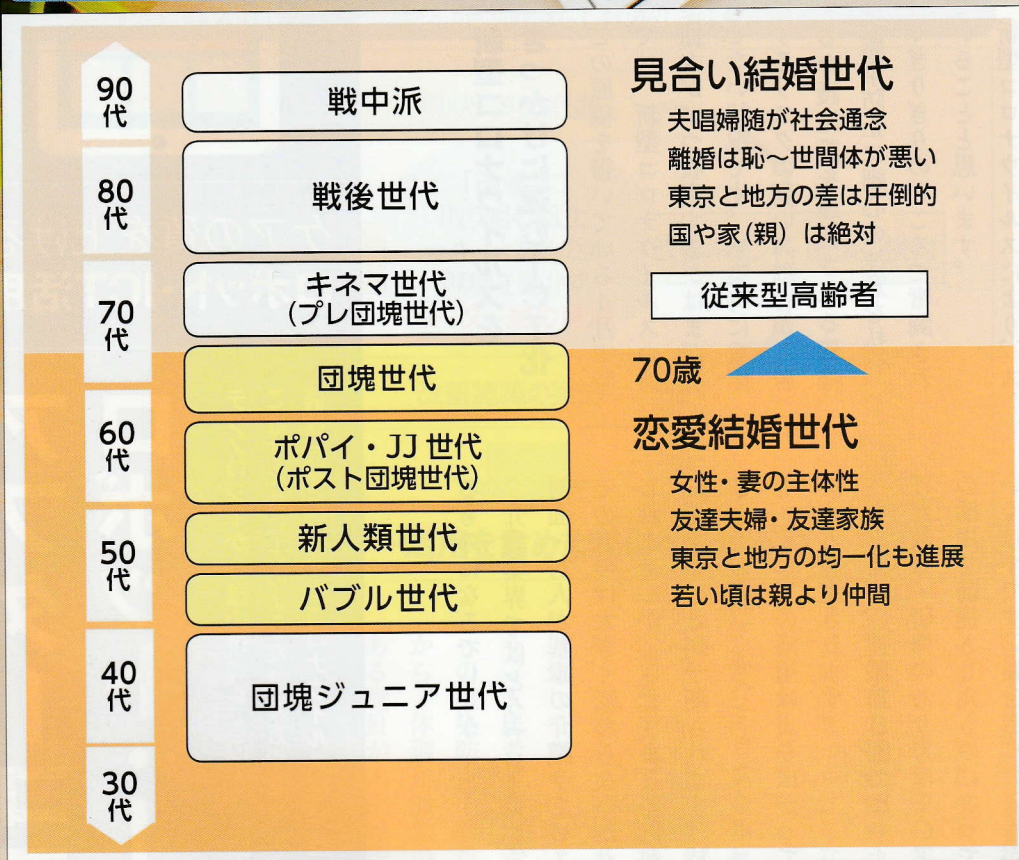
さんのようだといいいのですが」と言えば、よしわかった協力しよう、となりやすいわけです。

団塊世代とともに創る
次世代介護施設

いまロボットやAIをはじめ、介護施設自体が次世代へ向けて動き始めています。それは団塊世代の施設利用と重なっていきます。上記の三大問題がクリアされれば、次のような永続的な次世代施設をとともに創っていくことにつながります。

●ギターのある介護施設
「うた」が変わります。＼どんぐ

図表 年代別各世代と世代の変わり目



出典：人生100年時代未来ビジョン研究所

りころころ”も現在の”文部省唱歌”も姿を消します。フォーク・ニューミュージック・ポップス・歌謡曲になります。施設にはギターがあつて誰かがいつも弾き語りをするようにしましょう。

●利用者が運営するレクリエーション活動
 ギターやウクレレ、麻雀、パッティングゴルフ、邦画洋画・音楽ライブ映像鑑賞など、何か集まってやるのが大好きです。自発的

なレクリエーション活動が期待できます。

●介護予防エクササイズの盛んな
 介護施設
 もともとエクササイズが好きで、要介護度が低ければリハビリを兼ねて積極的にやりそうです。

インストラクターがいればより精を出すでしょう。

●グルメな介護施設

食にうるさい団塊です。料理のおいしさが介護施設の評価にもつながります。コスト面もあるので一品グルメや、ウンチク好きなので産地などの情報付きメニューも考えられます。

●ニューテクな介護施設

新しいもの好きです。タブレット端末使用やマッスルスーツなどには好意的で、移乗介助ロボットや離床介助ロボットなどは面白がりそうです。見守り機能に身体変化把握も兼ねたAIによるコミュニケーションロボットは話し相手としても有効です。

●同世代が支える介護施設

同世代の職員およびボランティアは、わかり合える、話を聞いてくれる、ということ、精神安定の面からも効果的だといえます。

●クロスジェネレーションの介護施設
 若い職員に対しても、恋愛結婚

世代でポップス・ロック世代でもあるため、年齢差のある友人関係になる可能性があります。若者をサポートしたい気持ちもあります。

●コミュニティカフェとしての介護施設
 すでに一部が始まっています

が、今後、地域で家族の介護問題に悩む住民も来訪し、かつギターで歌う若者も来られるような”地域のコミュニティ拠点”になる可能性があります。

* * *

団塊世代はこれまでも変わり目をつくってきました。団塊世代から従来の高齢者とは違うタイプの利用者になり、今後はそのバリエーションになっていきます。すでにプレ団塊世代が利用者になり始めています。

これからどういう介護施設にしていきたいか、それを団塊世代の利用者とともにどう創っていくか。それを考えるところに、明日の介護施設のあり方が見えてくるといえます。